

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第64期中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

NKKスイッチズ株式会社

厳しい業績も、回復の兆しがあります。 グローバル市場を見据えて、 積極的な施策を継続してまいります。

代表取締役社長

大橋智成



この半年間の産業用スイッチ業界の状況と、 業績の概況をお聞かせください。

上半期における日本経済は、国際情勢の変動など先行きの不透明感の強まりなどから輸出・生産面に鈍さが見られ、景気回復ペースが鈍化している状態が続きました。当社が属する産業用スイッチ（操作スイッチ）市場におきましては厳しい状況が続き、市場全体が低迷しました。

こうした中、当社グループは世界No.1の産業用スイッチメーカーになるというビジョンを達成するため、中期経営計画「Accomplish100」を推進いたしました。売上面では「ネット販売」「タッチパネル」「IS（多機能操作スイッチ）」「特定市場」といった販売強化項目の拡販に努めました。特に「ネット販売」では近年のインターネットの普及に伴い当社は多種多様な市場に幅広く浸透・拡大しているEコマースを新たな市場機会ととらえ、マーケット拡大が期待できる中国でEコマースを開始し、新たな販路の拡大に努めました。またターゲット市場である北米市場においては米国販社の販売体制を根本的に再構築するなどの改革も確実に推進されつつあります。生産面では、第3の生産拠点であるフィリピン・マクタン工場が2016年5月から本格稼働しております。

地域別の概況では、日本市場は先行き不透明な状況で推移

するとともに力強さを欠く状態が続き、外部顧客売上高は前年同期比7.4%減となりました。北米市場は米国大統領選挙が景況に与える不安要素などから全体的に弱含みに推移し、現地通貨ベースで同22.6%減となりました。また中国を含むアジア市場は成長鈍化が一層顕著となり、現地通貨ベースで同12.8%減となりました。

これらの結果、当社グループの2017年3月期上半期における売上高は33億7千万円（前年同期比18.6%減）、経常損失は為替差損が1億2千2百万円発生したこと等により2億9千8百万円（前年同期は3億1千8百万円の経常利益）となりました。ただし、各市場とも現地通貨ベースでは受注額が売上高を上回っており、今後の売上に期待しております。

フィリピン・マクタン工場の 稼働状況はいかがですか。

マクタン工場は、本年5月から生産を開始し、日本国内および中国からの生産ラインの移管が順調に進んでいます。今後とも日本品質を維持することはもちろんのこと、フィリピンの強みを活かす中で移管を進め、3年後を目途に日本・中国・フィリピンでの生産高をそれぞれ1/3程度にすることを予定しております。

タッチパネルの営業活動は どのように進める戦略でしょうか。

我々の企業の目的は「人と機械を結ぶ」お手伝いをすることにあり、タッチパネルも操作スイッチと同じマンマシンインターフェイスと考えています。当社は1990年代からタッチパネルを商品群に加え、2015年にはいわき工場（福島県いわき市）を拡充、専用工場にして生産体制を増強いたしました。タッチパネルの動作原理にはさまざまな方式がありますが、産業用途の場合、誤操作の回避が絶対条件です。そのため、当社は周辺環境から影響を受けず、意図せず画面を触れても誤操作するリスクがない、抵抗膜方式での開発・生産をしています。マンマシンインターフェイスはこれからはなくなると考えておりますが、その形は時代とともに変わっていきます。近年、タッチパネルは完全に社会に認知され、産機市場でこれからさらに発展すると考えております。ただ、当社がタッチパネル単体で営業活動することには限界があり、デザインハウスなどのパートナーと組む中で、単体ビジネスからソリューションビジネスを提供できる新たなビジネスモデルの構築を目指してまいります。

原価低減への取り組みを お聞かせください。

当社グループは2014年から継続して生産の構造改革に取り組んでおります。その中でどのような状況においても供給責任を果たすべく、リスクヘッジの観点からフィリピン・マクタンに工場を開設し、生産拠点を日本・中国・フィリピンの3カ国に分散いたしました。それと同時に各工場の役割も改めて決めました。当社はメーカーでありコア技術の空洞化は許されず、日本に製造現場は必要であると考えております。しかしながら日本の人件費は世界でもトップクラスであることも事実です。そのため、日本の工場は自動機を中心とした

生産展開をすることにより原価低減に努めていきます。中国の工場は開設されてから10年以上が経過し、生産ノウハウも蓄積されてきましたが、中国の経済成長に伴い人件費が上がりつつあります。当初は労働集約型の体制と考えていましたが、生産ノウハウの蓄積に伴い独自の力で半自動機の開発もできるようになり、人と共存する生産体制にすることにより原価低減を実現してまいります。最後のフィリピンですが、人件費が安く、社員の定着率も高く、英語圏で勤勉であることが強みです。まだ生産を開始したばかりの工場であり、生産ノウハウの蓄積はこれからですが、これら強みを活かすべく、まずは労働集約型の工場とし、今後、部品の現地調達ができるようになれば更なるコスト低減にも貢献できると考えております。これらのようにそれぞれの工場の特性を生かすことで、原価低減を図ってまいります。

最後に、株主様への メッセージをお願いします。

上期は非常に厳しい業績となりましたが、各市場とも受注高が売上高を上回り、この受注高が今後の売上となってまいります。またこれはお客様や代理店様の在庫調整にも歯止めがかかりつつある兆候でもあり、下期の業績は緩やかに回復していくと予測しております。

当社グループは「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーになる」という思いのもと、グローバル市場における競争力を確固たるものにするべく、積極的に施策を実施しております。中国市場での製品倉庫開設やEコマースの開始、さらにタッチパネルの新製品の投入や新たなビジネスモデルの構築など、さまざまな取り組みを進めております。こうした次世代を意識した投資が、近い将来必ず実を結ぶものと考えております。

株主の皆様には何卒ご理解をいただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

フィリピン・マクタン工場順調な立ち上がり

NKKは市場への安定供給体制を更に確実なものにするため、海外生産子会社としてフィリピン中部セブ州のマクタン島にマクタン工場を立ち上げ、5月より本格稼働を開始しております。

日本・中国の各工場より生産移管を行い、3年後にグループ全体の1/3程度の生産高とすべく、クラス1万のクリーンルーム内で現在月約25万個のスイッチを生産するまでになっております。また日本品質を維持するため、スタッフ教育に注力し、日本での研修および現地指導を行っております。NKKは今後も生産構造改革を推し進め、お客様に信頼され選ばれる製品を創り続けてまいります。



工場クリーンルームの様子



工場内倉庫の様子

中国Eコマース始動

中国が「世界の工場」から「世界のマーケット」に変貌する中で、NKKは中国市場をひとつのターゲット市場と位置付け、香港・上海にNKK販社を設立、中国における代理店網を拡張してまいりました。しかしながら近年のインターネットの普及に伴いNKKは多種多様な市場に幅広く浸透・拡大しているEコマースを新たな市場機会ととらえ、中国内にNKK倉庫を開設するとともに、企業間取引電子商業プラットフォーム中国最大手の「阿里巴巴1688.com」に出店いたしました。今後は取り扱い機種を増やし、中国国内のお客様からも信頼されるブランドとしての市場認知を高めてまいります。

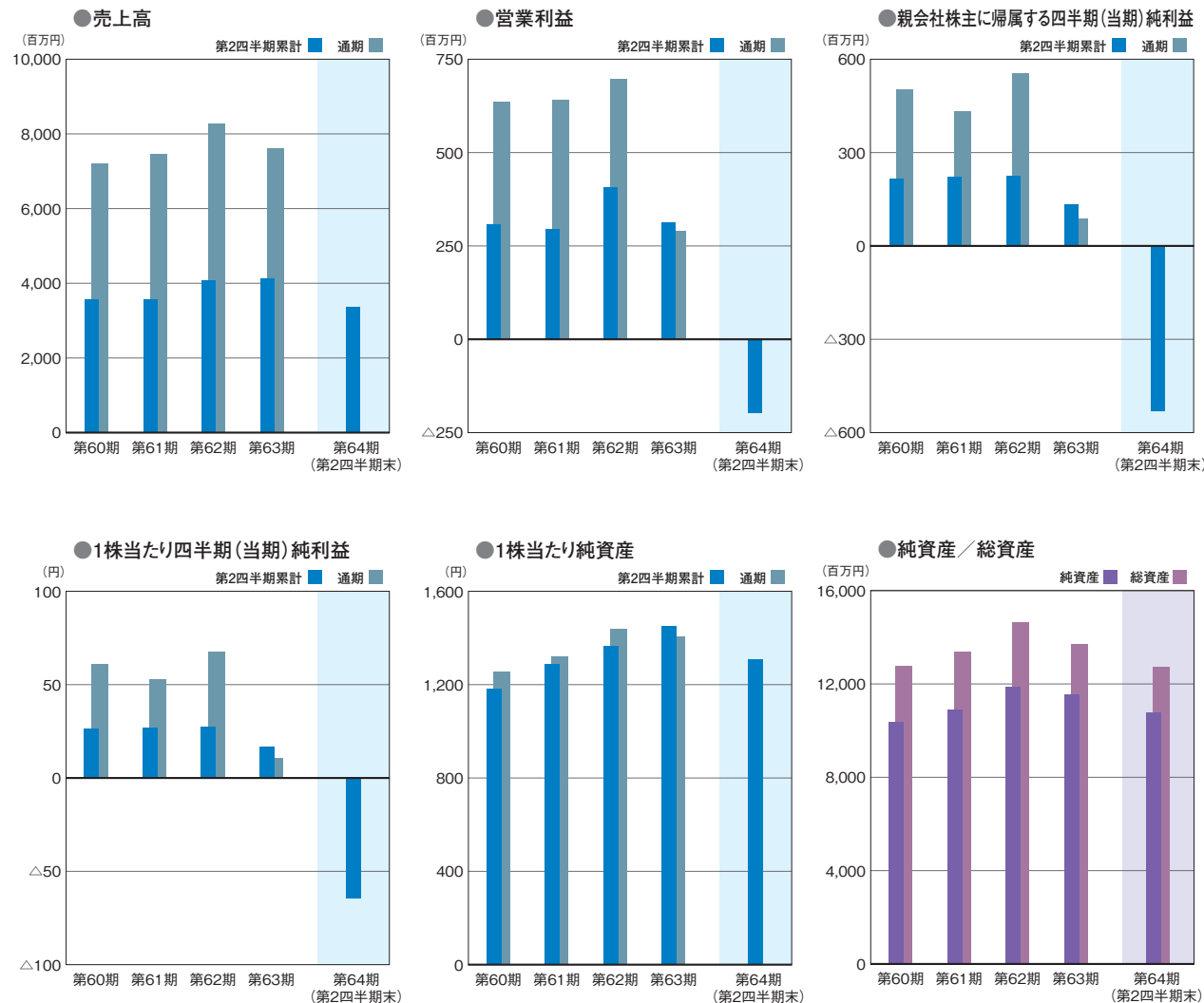


阿里巴巴1688.com



中国 NKK 倉庫

NKKは今後も、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーになるために、NKKブランドの構築に邁進してまいります。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期末 (平成28年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,155,813	9,895,134
固定資産	3,545,335	3,788,384
有形固定資産	1,988,122	1,962,206
無形固定資産	308,138	365,100
投資その他の資産	1,249,073	1,461,076
資産合計	12,701,149	13,683,519
負債の部		
流動負債	1,419,501	1,637,866
固定負債	525,454	480,640
負債合計	1,944,955	2,118,507
純資産の部		
株主資本	10,657,508	11,228,475
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,032,847	9,603,814
自己株式	△ 160,443	△ 160,443
その他の包括利益累計額	98,685	336,536
その他有価証券評価差額金	319,064	320,961
為替換算調整勘定	△ 220,378	15,575
非支配株主持分	—	—
純資産合計	10,756,193	11,565,012
負債純資産合計	12,701,149	13,683,519

■ 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	3,370,372	4,139,352
売上原価	2,232,329	2,398,376
売上総利益	1,138,042	1,740,976
販売費及び一般管理費	1,336,104	1,427,066
営業利益又は営業損失(△)	△ 198,061	313,909
営業外収益	32,127	35,245
営業外費用	132,402	30,481
経常利益又は経常損失(△)	△ 298,336	318,673
特別損失	846	1,339
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 299,183	317,333
法人税、住民税及び事業税	59,163	152,994
法人税等調整額	171,459	29,359
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 529,806	134,979
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 529,806	134,980

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,193	269,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	111,914	△ 338,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,190	△ 49,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 122,768	△ 12,116
現金及び現金同等物の増減額	222,148	△ 131,459
現金及び現金同等物の期首残高	5,222,265	6,199,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,444,414	6,068,388

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ バイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	http://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	青木 明裕
取締役	塚 正 勉
取締役	大橋 宏成
取締役	芦 澤 直太郎 (社外)
常勤監査役	中 村 正
監査役	片 山 隆之 (社外)
監査役	吉 原 重 樹 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	607名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッツ	1,320	16.03
株式会社三井住友銀行	410	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.23
大橋 宏成	293	3.55
大橋 尚子	280	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	279	3.38
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を193千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

